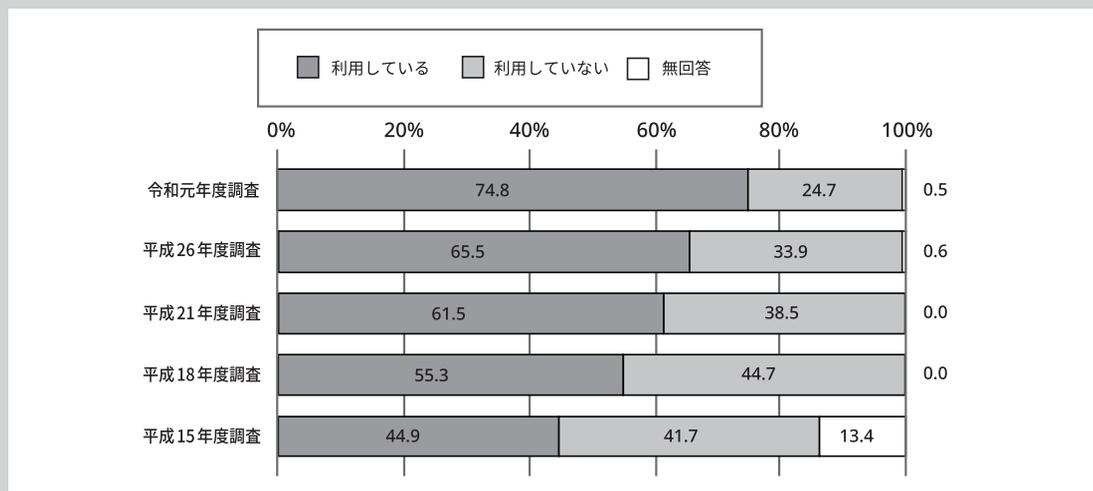


(2) 情報化・グローバル化の進展

①情報化

- 令和元年度の調査によると、本市のインターネットの利用率は増えています。
- 年代別では、全ての世代で増加しています。特に、60歳代は、令和元年度の調査と平成26年度の調査を比較すると20.2ポイント上昇しています。
- 情報通信技術は目まぐるしく進化しており、日常生活にも大きな影響をもたらしています。
- 生涯学習においても、インターネットを利用した「学び」と「活動」の場が増えるなど、学習形態や学習場所が変化しています。

【図表5 インターネットの利用状況（全体）】



資料：北九州市

【図表6 インターネットの利用状況（年代別推移）】

		令和元年度	平成26年度	平成21年度	平成18年度	平成15年度
合計		74.8%	65.5%	61.5%	55.3%	44.9%
年代別	19歳以下	100.0%	100.0%	94.5%	93.6%	66.7%
	20歳代	100.0%	94.0%	92.5%	81.2%	73.4%
	30歳代	100.0%	95.6%	87.0%	82.5%	68.2%
	40歳代	97.0%	90.3%	82.4%	76.9%	63.2%
	50歳代	93.7%	78.0%	67.0%	52.3%	35.6%
	60歳代	72.9%	52.7%	35.4%	25.4%	21.7%
	70歳以上	28.3%	14.9%	17.4%	13.3%	7.0%

資料：北九州市

生涯学習に求められること

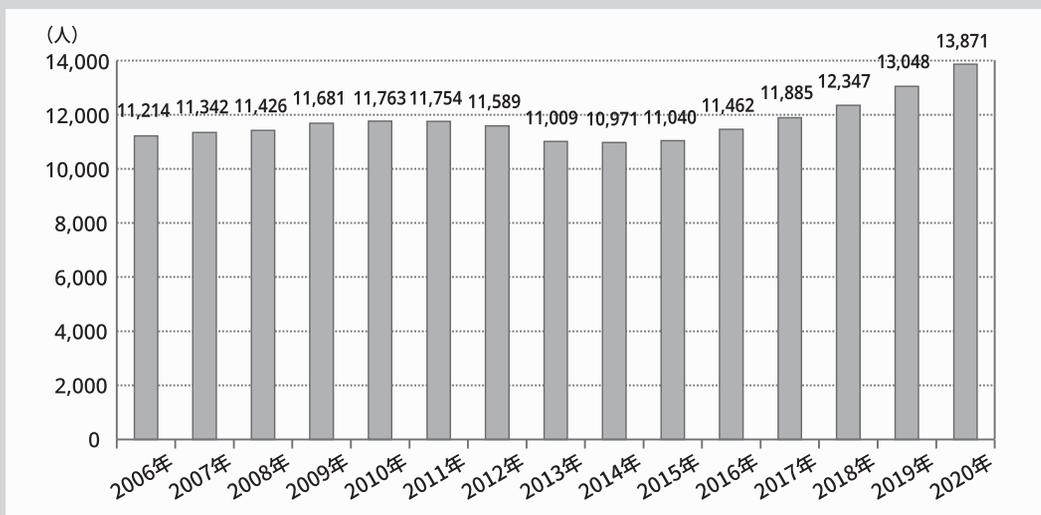
- ★より多くの市民に生涯学習の情報が発信できるよう、年代・属性等に応じた学習機会と情報の提供

②グローバル化

○市の外国人市民、留学生が増加しています。

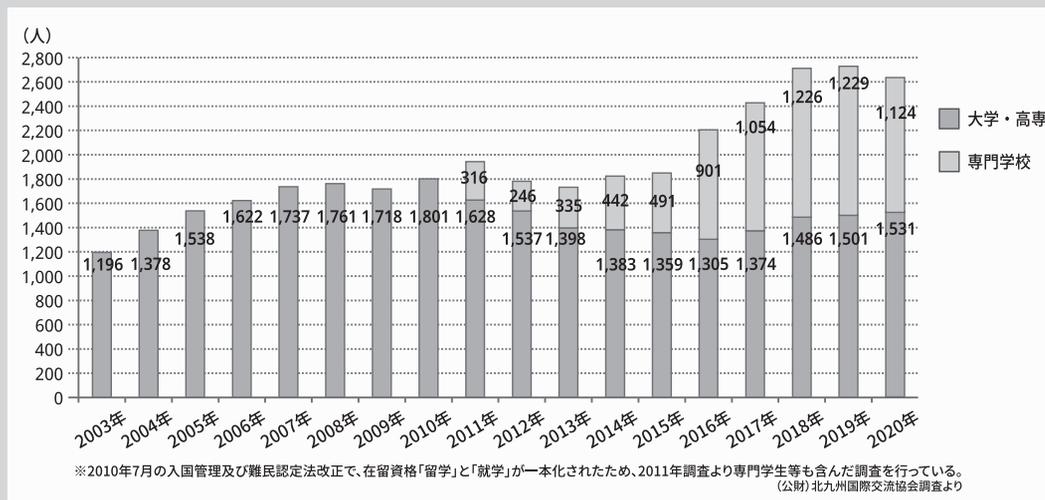
○外国籍市民等の増加に伴い日常生活でも共生する場面が増えています。

【図表7 本市の外国人市民（住民登録者）数の推移】



資料：北九州市

【図表8 市内留学生数の推移】



資料：北九州市

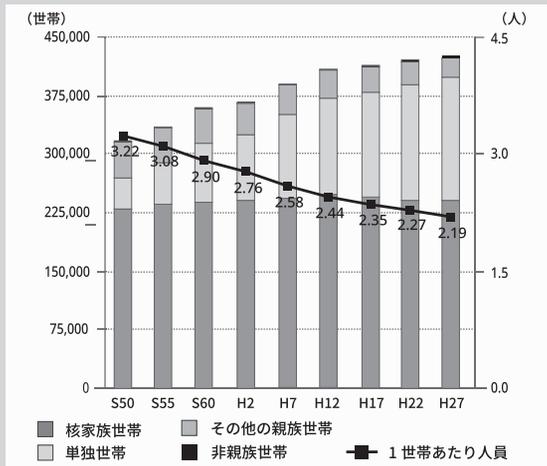
生涯学習に求められること

★外国籍市民等が地域の一員として安心して本市に住み続けられるよう、外国人同士の交流、地域住民との交流促進

(3) 家族形態の変化・地域コミュニティの希薄化

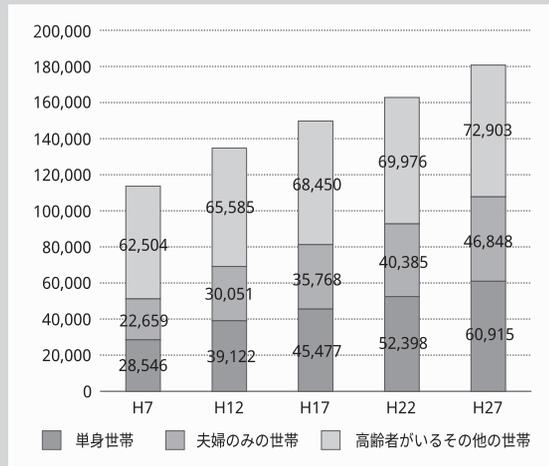
- 平成27年の本市の一般世帯数は425,544世帯で平成22年419,984世帯に比べ5,560世帯が増加しています。
- また、単独世帯の占める割合は平成22年の34.6%から平成27年は2.4ポイント増の37.0%となっています。
- 高齢者のいる世帯数は全体的に増加傾向となり、中でも、高齢者の単身世帯が増加していることが特徴として挙げられます。

【図表9 本市の家族類型別世帯数と1世帯あたり人員の推移（一般世帯）】



資料：総務省「国勢調査」

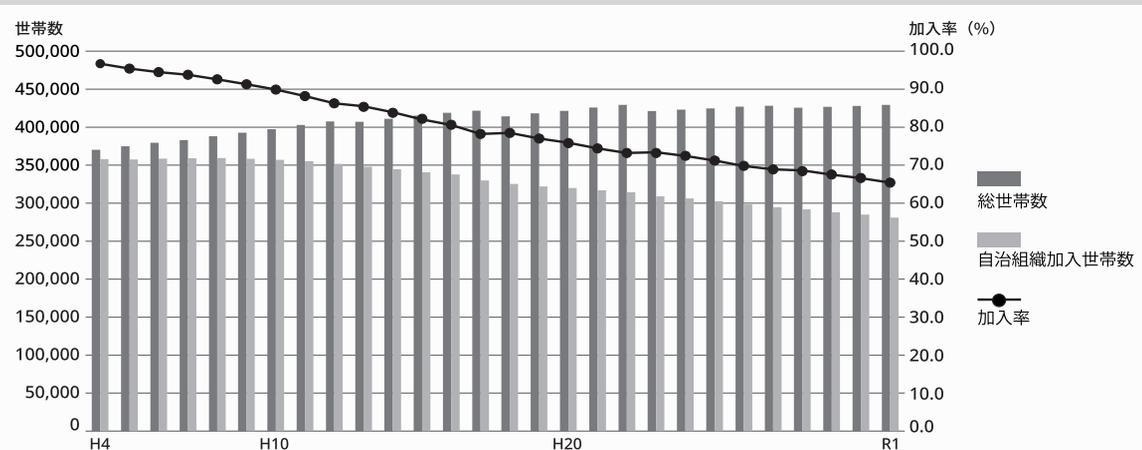
【図表10 本市の高齢者単身世帯数の推移】



資料：総務省「国勢調査」

- 高齢化の進展や共働き世帯の増加等により、自治会の役員のなり手が不足し、自治会加入率が低下しています。
- 地域社会における人と人とのつながりや支え合いの希薄化が進んでいます。

【図表11 自治会加入世帯数と加入率の推移】



資料：北九州市

生涯学習に求められること

- ★地域活動を担う人材を育成するための学びの機会の充実
- ★生涯学習を通じた地域の人と人をつなげる仕組みづくり

(4) 市民力による課題解決を目指す取り組み

○市内で活動する NPO 法人は様々なフィールドで活躍しており、特に「保健・医療・福祉」「まちづくり」「子どもの健全育成」の分野が上位を占めています。

【図表 12 市内 NPO 法人の状況】

市内に主たる事務所を置く NPO 法人数（各年度末現在）

年度	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1
法人数	323 (市所轄：308)	331 (市所轄：315)	322 (市所轄：305)	304 (市所轄：289)

資料：北九州市

【図表 13 市内に主たる事務所を置く NPO 法人の活動の分野（複数回答）】

活動分野	法人	割合
保健・医療・福祉	166	51.6%
社会教育	125	38.8%
まちづくり	139	43.2%
観光	9	2.8%
農山漁村振興	3	0.9%
文化・芸術・スポーツ	88	27.3%
環境	71	22.0%
災害救助	22	6.8%
地域安全	30	9.3%
人権・平和	54	16.8%
国際協力	45	14.0%
男女共同参画社会	29	9.0%
子どもの健全育成	121	37.6%
情報化社会	22	6.8%
科学技術	7	2.2%
経済活動	31	9.6%
職業能力・雇用	82	25.5%
消費者	15	4.7%
連絡・助言・援助	107	33.2%



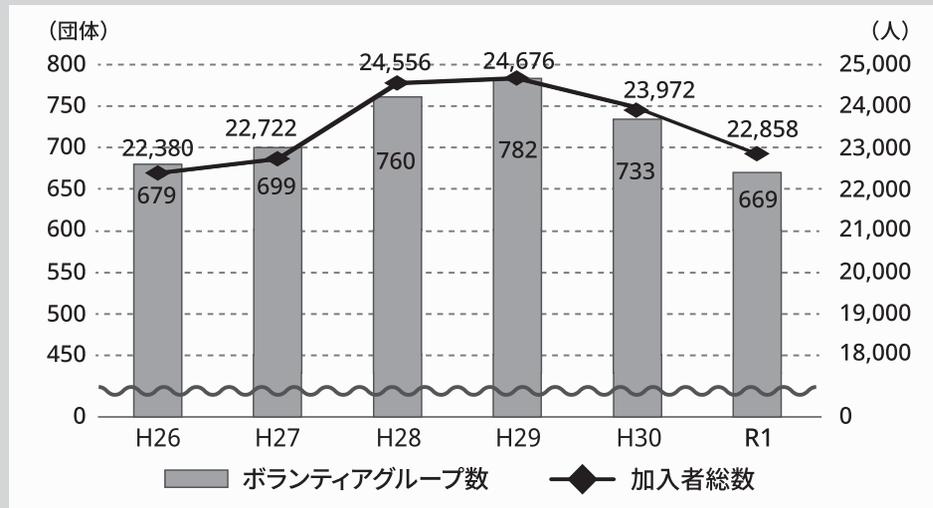
※令和元年度末現在

※複数の活動分野で活動する法人が多く、NPO 法人数とは一致しない。

資料：北九州市

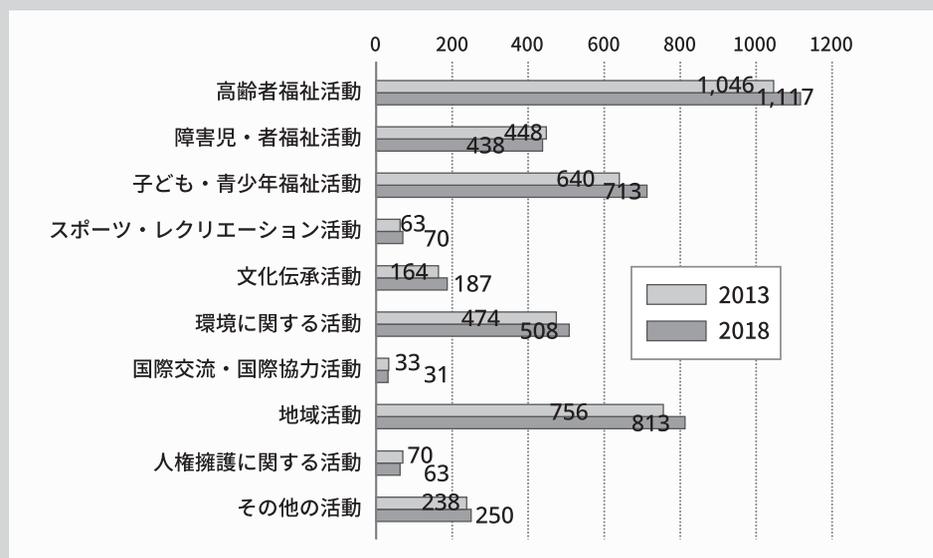
- 市社会福祉協議会のボランティア・市民活動センターに登録するボランティアグループは減少傾向です。
- ボランティアグループの活動領域は「高齢者福祉活動」「地域活動」「子ども・青少年福祉活動」が上位を占めています。

【図表 14 ボランティアグループ数及び加入者総数】



資料：社会福祉法人北九州市社会福祉協議会

【図表 15 領域別グループ数の比較 (延べグループ数)】



資料：社会福祉法人北九州市社会福祉協議会

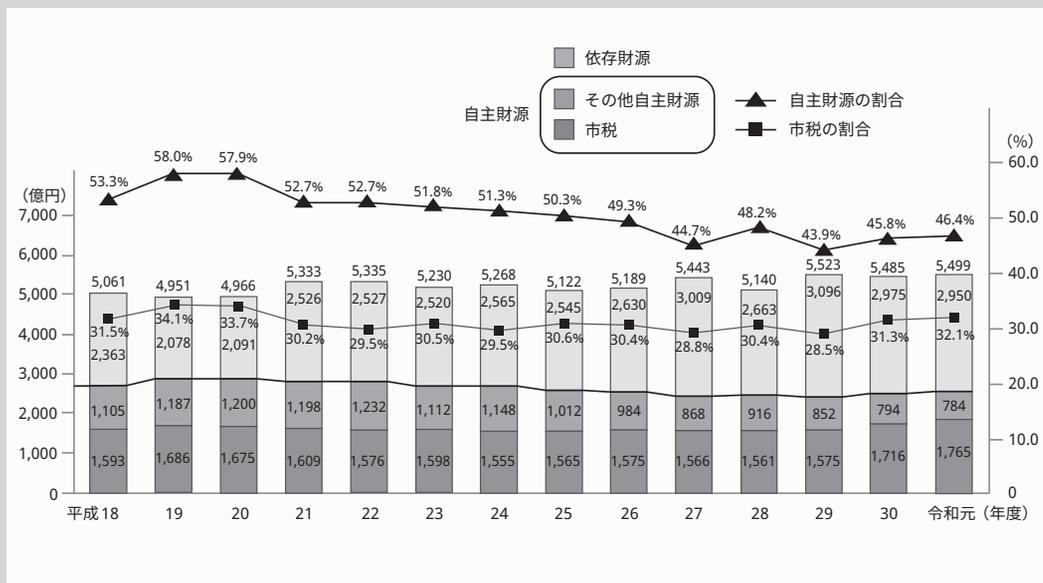
生涯学習に求められること

- ★NPO活動やボランティア活動を担う人材の発掘・育成につながる学びの機会の充実
- ★地域とNPO・ボランティア団体等が連携した、地域の課題解決につながる仕組みづくり

(5) 財政状況

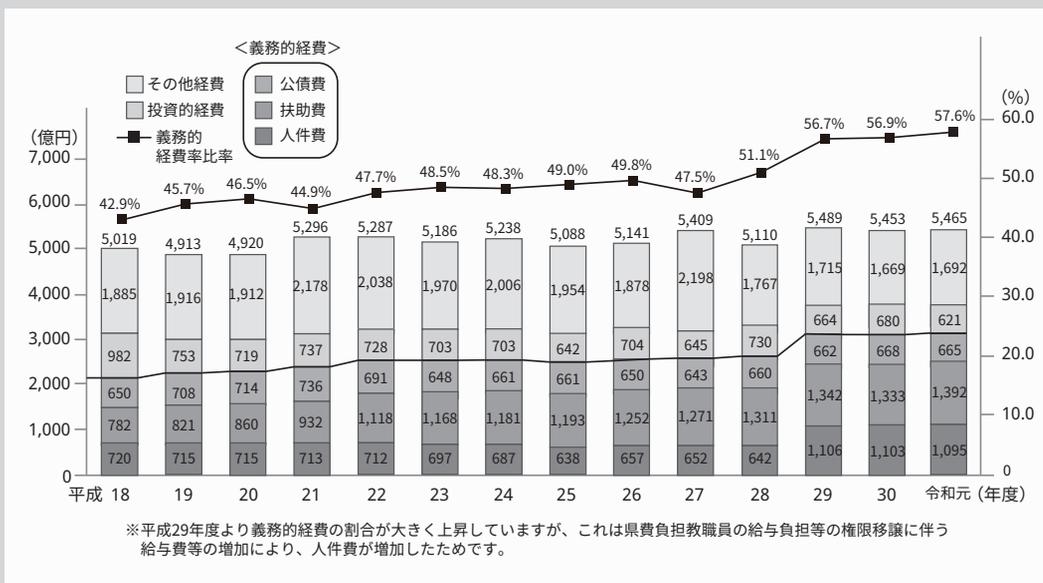
- 本市の財政状況は、歳入では自主財源比率が低く、財政基盤が脆弱となっています。
- 歳出では義務的経費比率が高くなっており、厳しい財政状況が続く見通しです。

【図表 16 一般会計歳入決算額の推移】



資料：北九州市

【図表 17 一般会計歳出決算額（性質別）の推移】



資料：北九州市

生涯学習に求められること

- ★ PDCA サイクルや効果の見える化等による、より効率的・効果的な事業の推進
- ★ 公共施設マネジメントの推進における選択と集中の観点から、生涯学習関連施設のより効率的な施設運営